

Chizuru Abe Exhibition

阿部千鶴 日本画展 ~ Flower palette ~

2023

1/6 fri — 2/12 sun

10:00 — 17:00 (金曜 19:00) 入館は閉館
15分前まで

休館日: 月曜日 1/9 (月・祝) は開館、1/10 (火) は休館

入館料: 一般 700円 / 学生 500円 (中学生以下無料)

《主催》公益財団法人佐藤国際文化育英財団 《共催》新宿区

公益財団法人佐藤国際文化育英財団

佐藤美術館

Flower palette



左:『とほくの森』/右:上段『シアワセノカタチ』/下段左『冬の唄』/下段中央『詩』/下段右『花の陽』

佐藤美術館では、日本画家として活躍する阿部千鶴(あべちづる)の個展を開催いたします。柔らかな色彩で花や少女を描く阿部は、1995年に東京藝術大学大学院修士課程日本画専攻を修了。1996年に創画展に初入選、2007年に奨励賞、2009年に創画会賞を受賞。現在は創画会准会員であり、数多くの個展・グループ展等精力的に制作活動をおこなっています。

阿部の作品の魅力は、描かれている対象へそがれる優しいまなざしでしょう。しかし、この暖かみのある表現が鑑賞者の心をつかむのは、しっかりとした技術と造形力が支えているからといえます。岩絵具の落ち着いた色味を十分に引き出すことを常に考え、構図を工夫する事で時間の流れを感じさせています。

阿部にとって、絵の中の人物は過去の自分を投影するものでした。しかし、いつの間にか人物は少女像へとかわり成長し、そして、少女像はまた人物像へと変化していきます。それは、水が流れるように自然なことだと作家は言います。

本展では、創画展に出品された大作と、過去の多くの小品の中から選んだ作品、合計約30点が出品されます。「Flower palette」という副題には、花いっぱいの一枚の画面という意味と、それぞれの時代の作品を一つのカラーとして花に見立て、展示会場をパレットのように彩り、花畑にいるような空間と時の流れを感じてほしいという願いが込められています。

20年近く前の作品から、2022年制作の新作まで、誰もが心の内に持っている大切な記憶をよみがえらせてくれるような作品の数々をお楽しみください。

《制作のこと》阿部千鶴

ひっそりと野原に咲いている草花。父の転動で地方を転々とし、落ち着かない中それらに触れることで心が安らぎ、見知らぬ土地での不安が少し解消された。

安心感と心細さの狭間の記憶は、どこか心地の良いものとして思い出される。自然と戯れていた当時の情景は、とても靡げで不鮮明だが、強く心に刻まれており、その時の心情が、私にとって制作の原点になっている。

夢と現実が溶け合うように輪郭や色彩が融合する。当時の感覚を彩り豊かに表現し、その空間にいつまでも佇んでいたと、懐かしい時間を思いながら、絵を描き続けている。自然の中に佇む女性や子供は、私自身の投影で、迷子の子供のような、少し心細い記憶の象徴として描いている。

心安らぐ場所、原点に帰れる場所を探し求めてこれからも画面との対話は続く。

この展覧会で、心温まる穏やかな時間を感じて頂けましたら幸いです。

作家略歴

- 1970 広島県生まれ、神奈川在住。
- 1993 東京藝術大学絵画科日本画専攻卒業
- 1995 東京藝術大学大学院修士課程修了
- 現在 創画会准会員

主な展覧会

- 1999 「4人展」(新宿 佐藤美術館)
- 2002 個展(船橋 東武) 同2003、2009~2022 毎年
- 個展(銀座 柴田悦子画廊)
- 2011 個展(京都 大丸) 同2018、2021、2022
- 2015 個展(横浜 フェアートギャラリー) 同2018~2022 毎年
- 「グループホライゾン」展(日本橋 高島屋) 同2017、2019、2021
- 2017 個展(大阪 あべのハルカス) 同2019
- 個展(神戸 大丸) 同2019、2021、2022
- 「我輩の猫展」(新宿 佐藤美術館)
- 2018 個展(銀座 GallerySeek) 同2019、2021
- 2020 「ビクトリーブーケ展」(新宿 佐藤美術館)



Facebook
chizuru.abe.129



Instagram
erfurtrose



Twitter
@abechizuru

アーティストトーク

作家が自作について語ります

1月22日(日) 午後2時~

予約不要・参加無料 (ただし当日の入場券が必要です)

当日作品集をお買い上げの方にはアーティストトーク終了後、阿部千鶴がサインをいたします。

新型コロナウイルス
感染症対策のため会期等が
変更になる場合がございます
ご来場の前に当館Twitter、
ウェブサイトをご確認ください

感染拡大予防ガイドライン

お客様へご協力をお願い マスクの着用をお願いいたします/37.5度以上の発熱がある場合は入館をお断りします

公益財団法人佐藤国際文化育英財団 佐藤美術館

160-0015 東京都新宿区大京町31-10
Tel 03 3358 6021 Fax 03 3358 6023
Email sato-museum@nifty.com
http://sato-museum.la.cocan.jp
Twitter @MuseumSato
Facebook satomuseum
Instagram satomuseum



JR総武線『千駄ヶ谷駅』より徒歩5分

千駄ヶ谷駅の改札出てすぐ左に進みます。その道を進むと大きな通り(外苑西通り)に出ます。それを左折し、しばらくすると歩道橋のある交差点(新宿御苑正門*普段は閉鎖)を右折して3軒目です。

JR総武線『信濃町駅』より徒歩7分

信濃町駅正面に慶應病院があります。駅を背にして慶應病院の左脇の道(JR線路沿い)を直進。下り坂になっていますので、下りきった辺り四谷第六小学校向かいです。

都営大江戸線『国立競技場駅』A-3出口より徒歩4分

国立競技場駅A-3出口を出たところから外苑西通りです。出口を背にしてそれを左側へ進みます。JRの高架をくぐり、しばらく歩くと歩道橋のある交差点に出ますので、そこを右折して3軒目です。

※駐車場はございません。